

大学院(博士前期課程)	ディプロマポリシー	博士前期課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、授業や研究活動を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、修士(情報学)の学位を授与する。 1) 幅広い教養を持ち、社会をより豊かにするために情報科学が果たすべき役割を理解するとともに、情報技術者として果たすべき役割の自覚と倫理観および地球規模からの的確に判断・行動できる。 2) 情報科学の要素技術や情報システムの高次元専門技術を身につけ、問題解決にアプローチでき、ハードウェア、ソフトウェア、システムの設計および実装を行うことができる。 3) 自身の考えや研究成果を正確かつ論理的に伝えるプレゼンテーション能力および協力的に活用するコミュニケーション能力を持つ。 4) 情報を整理・分析し、問題解決のための計画・方策を立案して主体的かつ継続的に遂行できる。 なお、学修・研究について顕著な成果が認められる者については、在学期間を短縮して博士前期課程を修了することができます。			
	配当単位数合計	18 単位	24 単位	5 単位	6 単位
	後期	情報科学特論D 1 情報科学特論B 1 情報数学特論D 1 情報数学特論B 1	情報科学特論B 1 情報数学特論A 1 生体情報処理特論B 1 生体情報処理特論A 1	知能情報システム論 2 情報ネットワーク特論 II 1 情報ネットワーク特論 I 1 分散情報システム特論 1	
	集中	情報科学特別講義C 1 情報科学特別講義A 1	情報科学特別講義D 1 情報科学特別講義B 1	インターンシップ 1 情報科学演習(学内) 2	情報科学演習(海外) 2
前期	情報科学特別講義C 1 情報科学特別講義A 1	情報科学特別講義D 1 情報科学特別講義B 1	通信ネットワーク構成論A 1 システム最適化理論 2 制御システム特論 2 計算機構成論 II 1 計算機構成論 I 1	通信ネットワーク構成論B 1 ヒューマンインターフェース特論 2 知識ネットワーク特論 2 ソフトウェア構成論 2 ソフトウェア工学特論 1	
分野	情報基礎領域		情報専門領域	実習	研究
カリキュラムポリシー	情報科学分野の社会的ニーズに応えるため、国際的に通用する高度な知識と創造的な能力に富み、また起業家精神をもった情報技術専門職人を育成することを目標としてクォータ制のもと「情報基礎」「情報専門」「実習」「研究」の各領域を設けてカリキュラムを編成する。 1) 「研究」領域では、「情報科学研究」として特定の研究テーマについて研究し、修士論文として発表できる能力を養う。 2) 研究分野の第一線で活躍する研究・開発をめざす人 3) 社会的な課題に対してアウトプット等を活用できる技術者育成を目指して、関西圏の他大学院とも連携したアクティブラーニング型教育により実践力と応用力を高める。				
アドミッションポリシー	情報科学専攻科では、情報分野において高い専門性を必要とする業務を遂行するために必要な能力、およびその基礎となる学識を養い、時代の要請を的確に把握し、国際的に活躍できる高度情報技術者ならびに専門職人の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。 ＜求める人物像＞ 1) 情報分野における高度な専門的知識や実践的技術の修得をめざす人 2) 情報分野の第一線で活躍する研究・開発をめざす人 3) 進取の気性に富み、国際的な活動や企業家精神を生かした活動をめざす人 4) 能動的に学修や研究、実践的活動を遂行できる人				

学部	ディプロマポリシー	4年以上在学して所定の単位を修得し、授業および卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を有すると判断される学生に対して卒業を認定し、学士(情報学)の学位を授与する。 ＜情報科学＞ 1) 数学・自然科学と理工系学の専門基礎知識、およびハードウェア・ソフトウェア・システムに関する専門知識を持ち、高度情報化社会のためのシステム開発に活用できる。 2) 豊かな感性・論理的な思考力と柔軟な発想力や正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち、他者と協働して活動できる。 3) 自然と人間が共生する、豊かで安心できる社会の実現に必要な人間力 4) 責任感、倫理観、実行力を持ち自律的に判断し行動できる。 5) 新しいものことへの強い関心・興味を持ち、自主的・継続的に学習することができる。 ＜情報知能学科＞ A) 情報システムの社会における位置づけ、様々な分野に及ぼす影響を理解するとともに、それらのシステムに関わる業務の従事者として社会に果たすべき役割と責任を自覚し行動できる。 B) 知能情報技術、組み込みシステム技術、コンピュータ基盤技術等に関連する理工系の基礎知識を持つことができる。 C) 知能情報技術、組み込みシステム技術、コンピュータ基盤技術等の基本を理解し、これらを現実の問題解決に応用できる。 D) 正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち、日本語での文書作成、口頭発表および討論等の対話ができる。 E) 与えられた課題を解決するために、情報を収集・整理・分析して、問題解決のための計画・方策を立案し、継続的かつ協力的に推進できる。											
	分野別到達目標	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力を有し、幅広い視野の人文的素養、ならびに言語の基礎的知識を活用し、内閣府が定める国際化推進の方策を踏まえ、心身の健康を維持増進する方策を講じている。	社会を積極的に発展させる基礎的素養・能力として、幅広い視野の人文的素養、ならびに言語の基礎的知識を活用し、科学的知見に基づき思考・判断ができる。	自分自身の主体的な取り組みについて理解し、自律的な行動が取れる。さらに社会の出来事への関心を高め、社会に対して自分がどの様に貢献できるかを考えることができる。そしてこれらを受け、自身の将来を明確化した上で今後の勉強ならびに就職活動につなげることができる。	専門科目を学ぶ上で必要となる数学に関する基礎的知識・技術を身に付けることができる。	コンピュータのソフトウェア、ハードウェアおよびプログラミング技術、ならびにネットワークや組み込みシステムの原理・仕組みについて理解し、説明することができる。	アルゴリズムやオペレーティングシステムなどのソフトウェア技術およびコンピュータのアーキテクチャ、周辺回路などのハードウェア技術、ならびに情報セキュリティや情報技術者の責任などについて幅広く理解し、説明することができる。	高度な情報機器および情報システムへの応用に必要となる知能情報技術や知能制御技術、画像処理、信号処理などの各種専門技術について理解し、説明することができる。	プログラミングの演習や、機器を使用した実験などを通じて、それまでに学んだ知識・技術を現実の問題に活用することができる。	卒業に必要な単位数 124単位 (専門科目70単位)			
	配当単位数合計	-	-	-	18 単位	24 単位	30 単位	15 単位	19 単位	106 単位			
	4	通年	(3～4年次) 【人文社会科学】 【外国語】 【健康・スポーツ科学】 【人文社会科学】 【人文社会科学】 【外国語】 【健康・スポーツ科学】	(4年次) 科学史(2)	卒業研究						-		
3	集中	【外国語】 英語の語法(2) 英語による機軸特論Ⅱ(2) 英語演習(1) 【健康・スポーツ科学】 健康科学(2) スポーツ科学実習(1) 【人文社会科学】 【人文社会科学】 倫理学基礎(2) 人間の歴史(2) 言語学基礎(2) 人間学と人権(2) 哲学基礎(2) 社会学基礎(2) 情報社会学(2) 応用倫理学(2) 日本の歴史(2) 文学基礎(2) 現代文学(2) 日本国憲法(2) 【外国語】 英語表現(basic 1)a(1) 英語表現(basic 1)b(1) 英語表現(basic 2)a(1) 英語表現(basic 2)b(1) 【健康・スポーツ科学】 基礎スポーツ科学(1) 基礎スポーツ科学(1)	(1～2年次) 基礎ゼミナール(1) キャリアステップ(1) キャリアデザインⅠ(1) キャリアデザインⅡ(1) グローバルテクノロジー論(1) OIT概論(1) 環境情報科学(2) 地球科学基礎(2) 地球環境(2) 生命科学基礎(2) 情報生命科学(2) 視る自然科学(2)	微積分Ⅱ 2 線形数学Ⅱ 2 確率・統計 2	情報数学 2 グラフ理論 2 周波数解析 1	データ構造とアルゴリズムⅠ 2 情報通信ネットワーク 2 組込みシステム基礎 2	ソフトウェア工学Ⅰ 2 アセンブリ言語 2	ソフトウェア工学Ⅱ 2 システムプログラム 2 集積回路工学 2 情報セキュリティの基礎 2 プロセッサ設計 2 オートマトンと形式言語 2	情報ゼミナール 2 情報技術者論 2 Unixプログラミング 2 プログラミング言語論 2 データ構造とアルゴリズムⅡ 2	信号処理 2 画像処理 2 集積回路設計 2 知能制御工学基礎 2	知能制御工学 2 知能情報処理 2 コンピュータグラフィックスⅠ 2 情報制御工学基礎 2	CSプロジェクト演習 1 情報科学演習Ⅲ 2 知能制御工学演習 1 情報科学演習Ⅱ 2 ソフトウェア工学演習 2	1 単位 49 単位
2		(1～2年次) 経済学基礎(2) 現代経済論(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語表現(basic 1)a(1) 英語表現(basic 1)b(1) 英語表現(basic 2)a(1) 英語表現(basic 2)b(1) 【健康・スポーツ科学】 基礎スポーツ科学(1) 基礎スポーツ科学(1)	(1～2年次) 物理学基礎(2) 現代経済論(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語表現(basic 1)a(1) 英語表現(basic 1)b(1) 英語表現(basic 2)a(1) 英語表現(basic 2)b(1) 【健康・スポーツ科学】 基礎スポーツ科学(1) 基礎スポーツ科学(1)	情報数学 2 グラフ理論 2 周波数解析 1	データ構造とアルゴリズムⅠ 2 情報通信ネットワーク 2 組込みシステム基礎 2	ソフトウェア工学Ⅰ 2 アセンブリ言語 2	ソフトウェア工学Ⅱ 2 システムプログラム 2 集積回路工学 2 情報セキュリティの基礎 2 プロセッサ設計 2 オートマトンと形式言語 2	情報ゼミナール 2 情報技術者論 2 Unixプログラミング 2 プログラミング言語論 2 データ構造とアルゴリズムⅡ 2	信号処理 2 画像処理 2 集積回路設計 2 知能制御工学基礎 2	知能制御工学 2 知能情報処理 2 コンピュータグラフィックスⅠ 2 情報制御工学基礎 2	CSプロジェクト演習 1 情報科学演習Ⅲ 2 知能制御工学演習 1 情報科学演習Ⅱ 2 ソフトウェア工学演習 2	1 単位 49 単位	
1		(1～2年次) 経済学基礎(2) 現代経済論(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語表現(basic 1)a(1) 英語表現(basic 1)b(1) 英語表現(basic 2)a(1) 英語表現(basic 2)b(1) 【健康・スポーツ科学】 基礎スポーツ科学(1) 基礎スポーツ科学(1)	(1～2年次) 物理学基礎(2) 現代経済論(2) 心理学基礎(2) 【外国語】 英語表現(basic 1)a(1) 英語表現(basic 1)b(1) 英語表現(basic 2)a(1) 英語表現(basic 2)b(1) 【健康・スポーツ科学】 基礎スポーツ科学(1) 基礎スポーツ科学(1)	微分方程式 2 微積分Ⅰ 2 線形数学Ⅰ 2	プログラミング入門 2 コンピュータリテラシー 2 コンピュータ入門 2	プログラミング基礎 2 テクニカルライティング 2 デジタル回路 2 情報処理基礎 2	データベースシステム 2 オペレーティングシステム 2	情報科学実践演習(国際PBL) 1	情報科学演習Ⅰ 2 Java演習 3 C演習Ⅱ 3	情報科学演習Ⅰ 2 Java演習 3 C演習Ⅱ 3	情報科学演習Ⅰ 2 Java演習 3 C演習Ⅱ 3	23 単位	
分野	総合人間学系	総合理学系	キャリア	数理科学	専門基礎	基幹科目	応用科目	演習科目					
カリキュラムポリシー	＜情報科学専攻科カリキュラムポリシー＞ 情報科学分野の社会的ニーズに応えるため、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、主体的に学修できる科目を選択し、体系的カリキュラムを編成する。 なお、本学(院)には、日本技術者育成認定機構が定める国際基準に準拠したカリキュラムから構成されるコンピュータサイエンスコースと、各学科の専門性を生かした総合コースのいずれかを選択する。 1) 豊かな人間性を養う基礎教育 2) 最先端の技術者育成を目指す専門教育 3) 情報科学の基礎と応用に関する学修 4) 情報科学の基礎と応用に関する学修 5) 情報科学の基礎と応用に関する学修 6) 情報科学の基礎と応用に関する学修 7) 情報科学の基礎と応用に関する学修 8) 情報科学の基礎と応用に関する学修 9) 情報科学の基礎と応用に関する学修 10) 情報科学の基礎と応用に関する学修 11) 情報科学の基礎と応用に関する学修 12) 情報科学の基礎と応用に関する学修 13) 情報科学の基礎と応用に関する学修 14) 情報科学の基礎と応用に関する学修 15) 情報科学の基礎と応用に関する学修 16) 情報科学の基礎と応用に関する学修 17) 情報科学の基礎と応用に関する学修 18) 情報科学の基礎と応用に関する学修 19) 情報科学の基礎と応用に関する学修 20) 情報科学の基礎と応用に関する学修 21) 情報科学の基礎と応用に関する学修 22) 情報科学の基礎と応用に関する学修 23) 情報科学の基礎と応用に関する学修 24) 情報科学の基礎と応用に関する学修 25) 情報科学の基礎と応用に関する学修 26) 情報科学の基礎と応用に関する学修 27) 情報科学の基礎と応用に関する学修 28) 情報科学の基礎と応用に関する学修 29) 情報科学の基礎と応用に関する学修 30) 情報科学の基礎と応用に関する学修 31) 情報科学の基礎と応用に関する学修 32) 情報科学の基礎と応用に関する学修 33) 情報科学の基礎と応用に関する学修 34) 情報科学の基礎と応用に関する学修 35) 情報科学の基礎と応用に関する学修 36) 情報科学の基礎と応用に関する学修 37) 情報科学の基礎と応用に関する学修 38) 情報科学の基礎と応用に関する学修 39) 情報科学の基礎と応用に関する学修 40) 情報科学の基礎と応用に関する学修 41) 情報科学の基礎と応用に関する学修 42) 情報科学の基礎と応用に関する学修 43) 情報科学の基礎と応用に関する学修 44) 情報科学の基礎と応用に関する学修 45) 情報科学の基礎と応用に関する学修 46) 情報科学の基礎と応用に関する学修 47) 情報科学の基礎と応用に関する学修 48) 情報科学の基礎と応用に関する学修 49) 情報科学の基礎と応用に関する学修 50) 情報科学の基礎と応用に関する学修 51) 情報科学の基礎と応用に関する学修 52) 情報科学の基礎と応用に関する学修 53) 情報科学の基礎と応用に関する学修 54) 情報科学の基礎と応用に関する学修 55) 情報科学の基礎と応用に関する学修 56) 情報科学の基礎と応用に関する学修 57) 情報科学の基礎と応用に関する学修 58) 情報科学の基礎と応用に関する学修 59) 情報科学の基礎と応用に関する学修 60) 情報科学の基礎と応用に関する学修 61) 情報科学の基礎と応用に関する学修 62) 情報科学の基礎と応用に関する学修 63) 情報科学の基礎と応用に関する学修 64) 情報科学の基礎と応用に関する学修 65) 情報科学の基礎と応用に関する学修 66) 情報科学の基礎と応用に関する学修 67) 情報科学の基礎と応用に関する学修 68) 情報科学の基礎と応用に関する学修 69) 情報科学の基礎と応用に関する学修 70) 情報科学の基礎と応用に関する学修 71) 情報科学の基礎と応用に関する学修 72) 情報科学の基礎と応用に関する学修 73) 情報科学の基礎と応用に関する学修 74) 情報科学の基礎と応用に関する学修 75) 情報科学の基礎と応用に関する学修 76) 情報科学の基礎と応用に関する学修 77) 情報科学の基礎と応用に関する学修 78) 情報科学の基礎と応用に関する学修 79) 情報科学の基礎と応用に関する学修 80) 情報科学の基礎と応用に関する学修 81) 情報科学の基礎と応用に関する学修 82) 情報科学の基礎と応用に関する学修 83) 情報科学の基礎と応用に関する学修 84) 情報科学の基礎と応用に関する学修 85) 情報科学の基礎と応用に関する学修 86) 情報科学の基礎と応用に関する学修 87) 情報科学の基礎と応用に関する学修 88) 情報科学の基礎と応用に関する学修 89) 情報科学の基礎と応用に関する学修 90) 情報科学の基礎と応用に関する学修 91) 情報科学の基礎と応用に関する学修 92) 情報科学の基礎と応用に関する学修 93) 情報科学の基礎と応用に関する学修 94) 情報科学の基礎と応用に関する学修 95) 情報科学の基礎と応用に関する学修 96) 情報科学の基礎と応用に関する学修 97) 情報科学の基礎と応用に関する学修 98) 情報科学の基礎と応用に関する学修 99) 情報科学の基礎と応用に関する学修 100) 情報科学の基礎と応用に関する学修			専門科目を学ぶ上で必要となる数学の基礎を固める。	コンピュータのソフトウェア、ハードウェアおよびプログラミング技術、ならびにネットワークや組み込みシステムの原理・仕組みについて学ぶことで、高度情報技術者として必須となる基礎的知識・技術を身に付ける。	アルゴリズムやオペレーティングシステムなどのソフトウェア技術およびコンピュータのアーキテクチャ、周辺回路などのハードウェア技術に対する理解を深め、情報セキュリティや情報技術者の責任などについて幅広く学ぶことにより、高度な情報機器および情報システムを構築する上で必要となる知識・技術を総合的に身に付ける。	高度な情報機器および情報システムへの応用に必要となる知能情報技術や知能制御技術、画像処理、信号処理などの各種専門技術について学ぶ。	プログラミングの演習や、機器を使用した実験などを通じて、それまでに学んだ知識・技術を現実の問題により習得する。	年間履修上限単位数 44単位				
アドミッションポリシー	現在、電気製品だけでなく機械製品にもコンピュータが使われています。情報知能学科は、コンピュータや制御装置(ハードウェア)、OSやコンパイルなどの基盤ソフトウェア、機器制御を含むアプリケーションに対応する組み込みソフトウェアの設計技術を学び、ソフトだけでなくハードにも対応できる「情報プロフェッショナル」を育成します。 ＜求める人物像＞ (1) コンピュータの設計技術やナレッジの回路設計技術に身に付けたい人 (2) 基盤ソフトウェア技術者に身に付けたい人 (3) 組み込みソフトウェア技術者に身に付けたい人 (4) ロボット等の制御装置に関する技術者に身に付けたい人												

Table showing the curriculum map for the Master's program, including course counts (18, 24, 5, 6 units), course titles (e.g., Information Science Specialization, Information Systems, etc.), and a legend for required and elective courses.

Table detailing the program's objectives and graduate profiles. It includes sections for 'Information Science Graduate' and 'Computer Science Graduate', outlining the skills and knowledge expected of graduates.

Table detailing the program's objectives and graduate profiles. It includes sections for 'Information Science Graduate' and 'Computer Science Graduate', outlining the skills and knowledge expected of graduates.

Main curriculum map table showing course distribution across semesters (1-4), units (18, 24, 30, 15, 19), and specific course titles (e.g., Information Science, Computer Science, etc.).

Table detailing the program's objectives and graduate profiles. It includes sections for 'Information Science Graduate' and 'Computer Science Graduate', outlining the skills and knowledge expected of graduates.